

第 3 回専門部会意見対応表

【スポーツ・文化】			
No.	委員	意見	対応
1	中田委員	<p>・基本目標 1 3 「世界屈指のウィンタースポーツシティ」の目指す姿 1 について、目指す姿に札幌市で育ったウィンタースポーツのアスリートが国内外で活躍しているという文章が入っている。これは 2 0 3 0 年の冬季オリパラを意識し、オリンピックに参加できるようなアスリートが札幌市で育ってくれば、市民の中でウィンタースポーツの裾野が広がっていくという意図があると思う。丸の二つ目に「アスリートの発掘」という表現があるが、発掘だけでなく、アスリート支援の観点も追加した方がよい。</p> <p>・実際札幌市出身の方でも、現に全日本クラスでオリンピックを目指している人が何人か知っている。大学で体育会系としてやっているときはいいらしいが、その後就職して社会人になったときに、企業に勤めながらオリンピックを目指している方への仕事の面への支援、金銭的な支援が必要とのことである。これらをしっかりやって支えていかないとせっかくオリンピックに出られるかもしれない、全日本クラスの選手がいるにもかかわらず、中々成長できないということになってしまう。</p> <p>・道外のある自治体では、企業と行政が一体となって選手を支援する仕組みづくりをしているところもあるため、そういったことを参考にしながら、将来のアスリートの発掘と支援を何かの形で書き加えてほしい。</p>	<p>・ご意見を踏まえ、世界屈指のウィンタースポーツシティの実現に向けて充実強化すること及び施策の二つ目に「アスリート支援」を追加します。</p> <p>1 3 - 1 充実強化すること アスリートの育成や支援</p> <p>1 3 - 1 施策二つ目 (修正案)</p> <p>将来のアスリートの発掘・支援や競技力の向上に向けて、アスリートから指導を受けることができる機会を設ける取組などを行うほか、NTC競技別強化拠点等の機能の強化を進めます。</p> <p>(当初案)</p> <p>将来のアスリートの発掘や競技力の向上に向けて、アスリートから指導を受けることができる機会を設ける取組などを行うほか、NTC競技別強化拠点等の機能の強化を進めます。</p>
2	山本(強)委員	<p>・基本目標 1 3 の「世界屈指のウィンタースポーツシティ」は、「世界屈指の」というところにアクセントが置かれている。札幌市民は 2 0 0 万人都市で大雪でということに関しては自信を持っているが、世界屈指のウィンタースポーツシティというイメージがあるのかは疑問。スキーはニセコ、スケートは帯広、カーリングは置戸となっている。では、札幌に軸足を置いたとき、我々札幌市民が屈指の、と言うとき、何を根拠に言うのかを明記してはどうか。</p>	<p>・ご意見を踏まえ、札幌市ならではの視点を追加します</p> <p>1 3 - 1 充実強化すること 札幌市の都市機能や気候、道内のスポーツ環境なども連動させたウィンタースポーツ環境の整備</p>
3	平本部会長	<p>・札幌市の都市機能をスポーツの分野にうまく加えることによって、北海道全体のウィンタースポーツを牽引するとか、そうした視点があってもいいのかなと思う。</p>	

No.	委員	意見	対応
4	川島委員	<p>・運動部活動の地域移行について、先月、スポーツ庁の有識者会議から提言があった。これは今後公立の中学校の部活動を段階的に地域に移行していくというもの。スケジュール等は変わってくるかもしれないが、令和5年度から3年間を集中移行期間としており、間違いなくこの10年の間にこういうことが行われていくと思う。これを前提に基本目標14を見たときに、部活動とは書いているが、トップアスリートやアスリートを派遣するなどということで、これらは現在も多少やっているような内容だと思う。記載場所はここでいいのか教育の分野なのかは分からないが、学校の運動部活動の支援をどこかに入れておくのがいいと思う。</p>	<p>・ご意見を踏まえ、運動部活動及び文化部活動について追記します。</p> <p>14-1 充実強化すること 運動部活動などの地域のスポーツ活動の支援</p> <p>14-1 施策三つ目 (修正案)</p> <p>市民の競技力の向上などのほか、トップアスリートの育成や市民のスポーツ活動の充実に向けて、運動部活動などにアスリートを派遣するなど、地域のスポーツ活動を支援します。 (当初案)</p> <p>市民の競技力の向上などのほか、トップアスリートの育成や市民のスポーツ活動の充実に向けて、学校の部活動などにアスリートを派遣するなど、地域のスポーツ活動を支援します。</p> <p>15-1 施策一つ目 (修正案)</p> <p>誰もが文化芸術に親しむことができる環境の充実に向けて、子どもや障がいのある方などにも文化芸術の鑑賞や体験の機会を提供するとともに、文化芸術イベントの開催や文化芸術施設の改修・更新などを行うほか、文化部活動における地域の文化芸術団体等との連携・協働に取り組みます。 (当初案)</p> <p>誰もが文化芸術に親しむことができる環境の充実に向けて、子どもや障がいのある方などに文化芸術の鑑賞や体験の機会を提供するとともに、文化芸術イベントの開催や文化芸術施設の改修・更新などを行います。</p>
5	川島委員	<p>・生活・暮らし分野の中に今回初めてウォーキングというワードが出てきた。これは、健康への理解促進や健康づくり、介護、生活習慣病の予防のために各区でウォーキングを取り入れていくといったことだと思う。札幌市が現在やっているスポーツの中で実施率が一番高いのがウォーキングであり、今後やりたいスポーツでもウォーキングが一番。スポーツの中では今さら感があるが、やはり基本的な運動として生活・暮らし分野で特記するのであれば、当然、スポーツにも記載した方がいいのではと思う。</p>	<p>・ご意見を踏まえ、ウォーキングを始めとした気軽に楽しめるスポーツ活動の場の充実強化の視点を追記します。</p> <p>14-1 充実強化すること 気軽に楽しめるスポーツ活動の場の提供</p>
6	原田委員	<p>・分野横断的に取り組む施策の中に健康行動の促進とウォークブルシティの推進という文言があり、確かにどこかでウォーキングという言葉はフィーチャーしておいてもいいのかなと思う。スポーツ・健康まちづくりのペースになるもの。</p>	

No.	委員	意見	対応
7	原田委員	<p>・基本目標14「四季を通じて誰もがスポーツを楽しむことができるまち」の目指す姿2の赤枠部分について、「プロスポーツチームと連携したまちづくり」との記載があるが、まちづくりにはプロスポーツだけでなく、様々な手法があると思う。国の第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の地方創生交付金の中で、スポーツ・健康まちづくりというチャプターができていることから、将来的に地方創生交付金の獲得を目指し、そういう書きぶりに直したほうが良いと思う（単なるまちづくりではなく、スポーツ・健康まちづくりに変えていただきたい）。</p>	<p>・現状の記載は札幌市にプロスポーツチームが複数あることから充実強化することとして記載していたところですが、様々な団体との連携の視点は各分野でも記載しております。健康まちづくりの観点は分野横断的なウェルネスの施策として位置付けてまいりたいと考えております。</p>
8	原田委員	<p>・今、札幌市は、国際競争力の高いスノーリゾート形成促進事業という令和4年度の補助事業にトライしているが、その中で非常に重要な位置を占めるのがベースタウン。スノーリゾートというのは文化芸術なしでは成り立たない。例えば、スイスにツェルマットという場所があるが、そこにはミシュランのレストランが13軒あり、スキー場に画廊がある。そこに来た富裕層のペンションなんか絵を買って帰っていく。このように文化芸術なしでは成立し得ないので、そこはうまくここに書き込んでいってもいいと思う。</p> <p>・四季を通じて誰もがスポーツを楽しむとあるが、これは、スポーツだけでなく、その結果、何が起きるかという、ウェルビーイング=幸せな生活を送れるということがあるため、もう少し包括的にし、スポーツ、文化芸術を楽しむことができるまちに変えても何らおかしくないと思う。</p>	<p>・ご意見を踏まえ、スノーリゾートのブランド化に向けた手段である冬季観光コンテンツの充実について、スポーツ・文化等の札幌市ならではのコンテンツとする旨を追加します。</p> <p>14-2 施策二つ目 (修正案)</p> <p>○スノーリゾートのブランド化に向けて～、<u>ウィンタースポーツやスノーアクティビティ、冬の文化体験等の札幌市ならではの魅力的な冬季観光コンテンツの充実</u>などに取り組みます。</p> <p>(当初案)</p> <p>スノーリゾートとしてのブランド化に向けて～、冬季観光コンテンツの充実などに取り組みます。</p>
9	原田委員	<p>・スノーリゾートとしてのブランド化もここにあるが、これは基本目標13に持っていてもいいと思う。特に、ブランド化というよりは、ワンブランド化。四つのスキー場を統合したようなスノーリゾート形成のワンブランド化というような表現が適当だと思う。</p>	<p>・スノーリゾートについては、地域経済の活性化の側面が強いものであり、14-2に位置付けられるものと整理しています。</p>
10	木村委員	<p>・基本目標14の目指す姿2は基本目標13の中に入っているともいいと思う。充実強化することのスノーリゾートとしてのブランド化は、オリンピックが来て、それできちんとブランド化やプロモーションができる。また、スポーツ大会や障がい者スポーツ大会もオリンピックと並列で書いたらそれで済むと思われる。</p>	
11	平本部長	<p>・スノーリゾートを基本目標13に入れたほうが良いのではないかとこの指摘については整理を検討してほしい。</p>	

No.	委員	意見	対応
12	平本部長	<p>・アーバンスポーツ、バーチャルスポーツの位置づけについて、ウェルネス、その先にくるウェルビーイングということだけでもなく、新しい分野、新しいスポーツの領域としてここに書いてあると思う。ただ、もしここに書くのが適切だということであるならば、分かるような表現で書いていただきたい。</p>	<p>・ご意見を踏まえ、新しいスポーツに関する記載を追加します。</p> <p>14-2 充実強化すること</p> <p>アーバンスポーツやバーチャルスポーツなどの新たなスポーツの普及促進</p>
13	佐藤（大）委員	<p>・ビジネスとしても成立しているスキーとは別に、ウインタースポーツには未知のものや、新しいもの、まだ下火だけれども、世界のどこかではやっていたりするものなどがあると思う。札幌が強みを生かせるところは、まちであり、人口があり、小さいがスキー場は沢山あり、色々なチャンスがあるというところだと思う。新しいスポーツだったり、芸術もそうだと思うが、成長するというか、これから芽を見つけて大きくしていくようなチャンスがあふれるところにも着目する必要がある。</p> <p>・芸術もスポーツもずっと公金を入れ続けて生き長らえさせる取組ではないと思う。やはり、自立してもらい、例えば、野球であれば、ビジネスとして、興行としても成立していて、広告業者としても成立している。そうすると、自分たちで再生産を始められるが、そういったものをこれからどんどん増やしていくという観点が大事。新しいものが成長するまちや新しいスポーツや芸術が発展していくまちという位置づけが実は札幌にとってはちょうどいいニュアンスなのかなと思う。</p>	
14	原田委員	<p>・日本全国にスポーツコミッションがあり、札幌にはグローバルスポーツコミッションがある。例えば、金沢や新潟では文化スポーツコミッションという名前を使っていて、文化的なイベントの誘致も入っている。将来的には組織の名称変更も踏まえ、ここをもう少し多様化していてもいいと思う。</p>	<p>・スポーツコミッションとの連携等については今後の事業実施の参考にさせていただきます。</p>

No.	委員	意見	対応
15	柴田委員	<p>・スポーツ・文化の資料を見ると、4分の3がスポーツ分野のものとなっているが、これはどういう意図があるのか。地域活性化・まちづくり・社会包摂というのは、芸術とスポーツの両方に通じるもので、置き換えても同じであり、共同でもやれるもの。札幌ドームもそうだが、芸術とスポーツの両方を使う施設もある。</p> <p>・どうしてこのようなバランスになっているのか。特に、文化関係の人が見たら明らかに差別化されていると思うかと。政令指定都市の政策として出すにはあまりにもバランスが取れていない。</p>	<p>・ご意見を踏まえ、「充実強化すること」において「アーティストや文化芸術団体等のニーズに寄り添った支援」を追記。</p> <p>15-1 充実強化すること アーティストや文化芸術団体等のニーズに寄り添った支援。</p> <p>・スポーツ分野と文化分野の記載に係るご指摘については、戦略編の素案作成に向けて引き続きご相談・ご検討させていただきます。</p>
16	平本部会長	<p>・これは要改善であると思う。項目数の問題ではないと整理していたが、結局、この下にアクションプランがぶら下がり、アクションプランと予算が密接に関わるということを考えたときには、それではよくない。</p> <p>・基本目標14の目指す姿の1・2について、スポーツを芸術に置き換えても全く同じことが言えるというのは、確かによく見るとそう。これについては今後の具体的な施策がちゃんと展開できる形に見直しが必要。</p>	
17	山本（一）委員	<p>・文化の部分について、一番下の担い手と書いてある箇所について、「文化財の未来への継承に向けて、文化・文化財の保存・改修を進めるとともに、これらの活用に向けて市民や観光客への周知を行う」との記載がある。しかし、これは物の話であり、人の話ではない。それなのに、いきなり継承という文脈になっているのはすごく違和感がある。札幌で活躍している高い文化を生み出してくれる人たちに対しての支援があると、もう少しきちとした支援になると思う。</p> <p>・札幌は、画家や彫刻家、家具作家、ガラス作家、小説家、焼き物をつくる方、映像作家、建築家、ファッションデザイナーなど、文化を生み出す人たちが結構沢山いると思う。文化をこれから生み出していくであろう人に着目し、文化を生み出す人たちと連携して文化を発信していく役割を施策として盛り込んだらいいと思う。それがあってこそ継承の担い手の育成という文脈につながる。</p>	<p>・アーティスト等への支援については、基本目標15の目指す姿1の充実強化することに位置付けており、今後も推進していきたいと考えております。</p>
18	平本部会長	<p>・将来的に札幌の文化芸術を豊かにしていく潜在的な人材、ないしは、顕在化していても、これから伸びていく人材に対する支援ということがどこかに入らなくてはいけないのではないかというご指摘であり、ごもっともだと思う。継承の担い手の部分は確かに未来志向には見えないため、これについても検討してほしい。</p>	

No.	委員	意見	対応
19	木村委員	<p>・基本目標15の目指す姿1に「誰もが文化芸術に親しみ～」との記載があるが、その充実強化することを見ると、その対象が子どもや障がいのある方に書き換えられている。子どもや障がい者に配慮をすればそれは誰もがそうである捉えられかねないため、この表現は改めた方がいい。</p>	<p>・ご意見を踏まえ、表現を次のとおり修正します。</p> <p>15-1 充実強化すること 子どもや障がいのある方も<u>含めた</u>文化芸術の鑑賞・体験機会の提供</p> <p>15-1 施策1つ目 (修正案) 誰もが文化芸術に親しむことができる環境の充実に向けて、子どもや障がいのある方などに<u>も</u>～ (当初案) 誰もが文化芸術に親しむことができる環境の充実に向けて、子どもや障がいのある方などに～</p>
20	柴田委員	<p>・芸術文化の記載では、芸術祭やパシフィック・ミュージック・フェスティバルなど、毎年書かれているようなことが書いてあるが、創造都市やインタークロス・クリエイティブ・センターの話などはなく、現状維持は書かれていても、ここから先の未来に関するものは一切書かれていない。これはちょっと問題だと思う。</p> <p>・例えば、DXやメタバース、NFTなど、オンライン経済がこれからすぐできてくるときに、NFTなんかはアートが結構先導していて、そこにスポーツが入ってきている。そういう技術革新などにも力を入れ、芸術文化に膨らますと、経済や観光などとも絡んでくるのではないか。固定のイメージで見ないで、少し広げて横断的に進行するようにすると、古くさく見えなくなると考える。</p>	<p>・ご意見を踏まえ、メディアアーツ等の新しいテクノロジーの活用・支援の観点を追加します。</p> <p>15-2 施策一つ目 (修正案) 札幌市ならではの文化芸術の世界への発信や文化芸術人材の育成、文化観光を通じた交流人口の増加に向けて、国際的な文化芸術イベントを行うほか、札幌芸術の森の魅力向上や<u>メディアアーツなど新しいテクノロジーの活用や支援等に取り組みます。</u> (当初案) 札幌市ならではの文化芸術の世界への発信や文化芸術人材の育成のほか、文化観光を通じた交流人口の増加に向けて、国際芸術祭などを始めとした国際的な文化芸術イベントを開催するほか、札幌芸術の森の魅力向上などを行います。</p>

No.	委員	意見	対応
21	柴田委員	<p>・芸術文化そのものというよりも、芸術文化の機能を活用してまちを活性化させる視点が重要だと思う。創造都市に関しては横浜で2005年頃に少し関わったことがあり、当時はそんなに文化が活発ではなかったが、空きビルを活用し、安くし、アトリエにしてもいいという、300人近いアーティストやクリエイターが移住してきた。そこからまちなかの空きテナントの活用や、アーティスト等が住みづらい地域にアーティスト等を派遣してまちの問題を解決していくということが起こった。こういった2次の効果が出てくると少し役に立つのかなと思う。</p>	<p>・ご意見を踏まえ、文化芸術の機能を活用したまちの活性化の視点を追記します。</p> <p>15-2 施策二つ目 (修正案)</p> <p>文化芸術による交流の創出や様々な分野との連携の機会づくりに向けて、様々な関係者が共に文化芸術活動を行うことができる環境の整備を進め、まちの活性化につなげていきます。</p> <p>(当初案)</p> <p>文化芸術による交流の創出や様々な分野との連携の機会づくりに向けて、様々な関係者が共に芸術文化活動を行うことができる環境の整備を進めるほか、他の分野との連携につながる取組を支援します。</p>
22	平本部会長	<p>・横浜の事例等も含め、札幌ででき得る十分にうまく真似し得るところを戦略として掲げてはどうかというご指摘だと思う。文化芸術の機能を活用してまちを活性化させるといのはまさにそういうことだと思うので、そういう書きぶりがどこかにあってもいいと思う。</p>	
23	柴田委員	<p>・芸術文化は、すぐに答えが出ないため、どうやって評価するのだという話がよく出るが、逆算してレガシーから考えていくというか、10年たった後に何が残っていたら成功だと言えるのか、方向性みたいなものがあればいいと思う。</p> <p>・芸術文化の評価を聞かれるときに話すのは、動員数や売上げが短期評価で、中期評価はそれが起こったことで別の団体や分野が刺激を受けて動くこと、例えば、芸術文化に関わることによって、生活が新しく変わる、まちづくりで何かが変わるということ。そして、3番目は、それこそ10年以上たったときに観光のまちとして有名になるということ。観光地にあるようなもので、作者が死んで何百年、何千年経っても残っているもので構成されている街があると思う（例えば、ローマ）。そして、もうひとつ、形のないもの、つまり、思想やアイデアという無形のものもある。イベントとしてぱっと消えてしまうのではなく、何か残るものをつくれたらいい。</p>	
24	平本部会長	<p>・短期、中期、長期で考え、売上げや動員数という目に見える数字、それから、他分野への波及、そしてそれが文化として最終的に定着する視点というご指摘だと思う。戦略編にどうこうということではないかもしれないが、そういう観点で文化芸術を捉えることが重要。</p>	

No.	委員	意見	対応
25	木村委員	・文化芸術の分量が少ないというのは確かに前から思っていたが、文化芸術がまちに何のために必要なかがあまり出てこない。豊かな人間性や想像力、感性の土台だから、まちに文化芸術が必要なのです、みたいなことが今までの資料ではあまり触れられてきていない。創造性や感性みたいなものが起業する人や経済の土台になったりしているの、人間としての土台ですみたいなことがあっていいと思う。	・文化芸術の意義については基本目標15に「心の豊かさや創造性を育み」と記載しているところでありますが、文化分野の個別計画等にも位置付けていきたいと考えております。
26	川島委員	・都市空間の分野で、ウォークアブルシティ・歩きたくなる都市というのがある。まちの中で文化イベントや文化施設が充実していることから、これらを含めて書いていくのも重要だと思う。	・文化イベントや文化施設等の活用の観点を踏まえた都市空間施策に係るご指摘については、PR等における活用の面も含めて、今後の事業実施の参考にさせていただきます。